

Theory of the Firm : Practical Aspects

【担当教員】

遠山 正朗・(未定)

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟406室 他

【授業目的及び達成目標】

本授業は、自然環境、人類の文化的・経済的活動など、技術科学をとりまく諸事情を理解し、広い視野を持って人類の幸福と持続的繁栄に技術科学を応用する意義を正しく認識した技術者になることを目的とするものであり、特に本授業では基礎を経営学に置きつつ実践的側面から企業を理解することを達成目標とするものである。

【授業キーワード】

企業、企業文化、企業の社会的責任、人的資源開発、社員教育

【授業内容及び授業方法】

企業とは何か。顧客とは、社員とは、地域社会とは何か、それらは企業にとって如何なる存在であるのか。本授業では、多くの実務家を講師に迎え、こうした問題にアプローチする。本授業を通じて、企業に対し、ビジネスに対し、新たな問題意識を持ち、また、企業人になる心構えを確立することを期待する。

【授業項目】

第1回:企業とは
第2回～第3回:企業と顧客
第4回～第5回:企業と倫理
第6回～第7回:企業と文化
第8回～第9回:企業と人材
第10回～第11回:企業と人事考課
第12回～第13回:企業の成果・評価・育成指導
第14回:企業と業界
第15回:期末試験

【教科書】

教科書に準じるものとして、

遠山正朗編著(2003)『ケースに学ぶ企業の文化』白桃書房、
遠山正朗編著(2003)『ケースに学ぶ企業と人材』白桃書房。
また、適宜プリントも配布する。

【参考書】

適宜紹介する。

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験により評価する。

【留意事項】

日本経済新聞を購読していることが望ましい。

企業活動とIT活用
IT Utilization in Business Activities

講義 1単位 2学期

【担当教員】

渡辺 研司 ほか

【留意事項】

※平成16年度は開講せず。

ボランティア活動基盤
Foundation of Volunteer Activity

講義 1単位 2学期

【担当教員】

塩野谷 明

【留意事項】

※平成16年度は開講せず。

ボランティア実践活動
Practical Volunteer Activity

実習 2単位 1,2学期

【担当教員】

経営情報システム工学課程主任

【授業目的及び達成目標】

ボランティア活動に関する知識・技能を学び、将来のボランティア活動に役立つ能力を身につけるとともに、学生及び社会人として求められる自主性、積極性、組織性、奉仕の精神、問題発見・解決能力などの資質を養うことを目的とする。

【授業内容及び授業方法】

公共団体及びボランティア団体等、責任の所在が明確な団体の主催する活動に参加する。

【授業項目】

学生自身が探し、実際の活動にあたっては、事前に「ボランティア活動計画書」を各課程主任等の承認を得て、経営情報システム工学課程主任に提出し、その承認を受ける。

【教科書】

なし

【参考書】

活動内容による。

【成績の評価方法及び評価項目】

ボランティア実践活動時間を証明するボランティア団体等の責任者の証明書、ボランティア活動レポートにより判断する。

【留意事項】

学期始め履修申告期間に開催されるガイダンスの受講を原則とする。また、事前に「教養科目履修案内」をよく読むこと。

【担当教員】

各課程主任

【授業目的及び達成目標】

情報処理に関する知識・技能を実践において活用する能力を身につけるとともに、ボランティア活動を体験し、学生及び社会人として求められる自主性、積極性、組織性、奉仕の精神、問題発見・解決能力等の資質を養うことを目的とする。

【授業内容及び授業方法】

地方公共団体ないし小中高等学校が主催するIT教育プログラムに補助員として参画し、情報処理に関する知識・技能を実践的に活用する。

【授業項目】

ガイダンスの受講及び派遣先での活動。
なお、ガイダンスには以下の内容が含まれる。
(1) 派遣にあたっての心構え・留意事項
(2) 著作権、プライバシー、情報倫理等についての基礎知識

【教科書】

なし

【参考書】

派遣先の要請内容による

【成績の評価方法と評価項目】

演習時間を証明する受入期間の責任者の証明書及び、派遣先での活動状況を記録した「応用ネットワーク実習」レポートにより判断する。

【留意事項】

派遣にあたっては、派遣先での活動内容、IT関係科目の履修状況などを記した申込書を課程主任に提出し、承認を得ることが必要である。